

景況調査

第18回「県内企業景気動向調査」(概要※)

※詳細は調査レポート (<http://www.sfsi.co.jp/>) をご覧ください。

1. 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

2. 調査の方法

オンライン・アンケート (894社*)

※有効回答数487社 (回答率54.5%)

3. オンライン・アンケートの集計方法

すべての質問項目についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合)

- (「悪い」と回答した企業の割合)

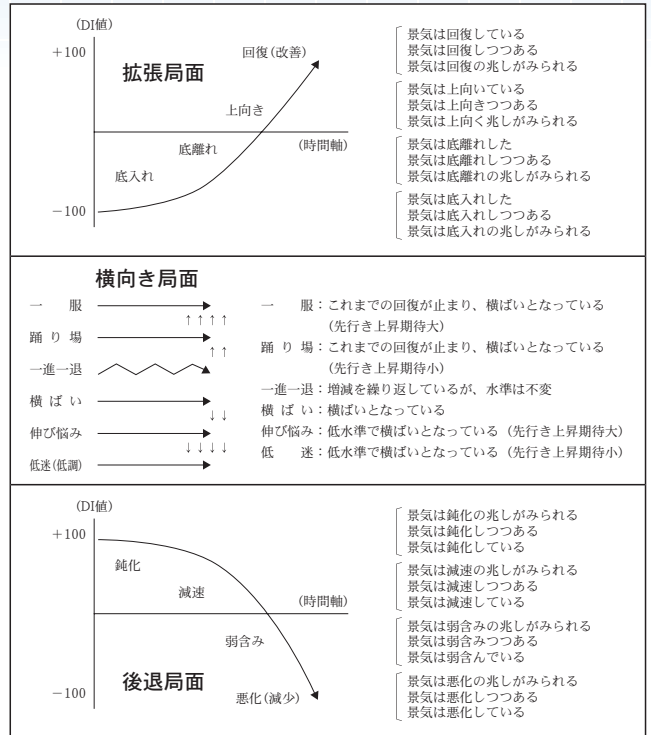
4. 調査期間

平成21年2月2日(月)~13日(金)

5. 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上市市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

6. 基調判断用語の凡例



景気天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値 (前年同期比) を5段階に分けて図解したものの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ ▲10	▲10 > DI ≥ ▲30	▲30 > DI

(前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

(今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

■ 県内企業の景気動向

現状判断：一段と悪化している。

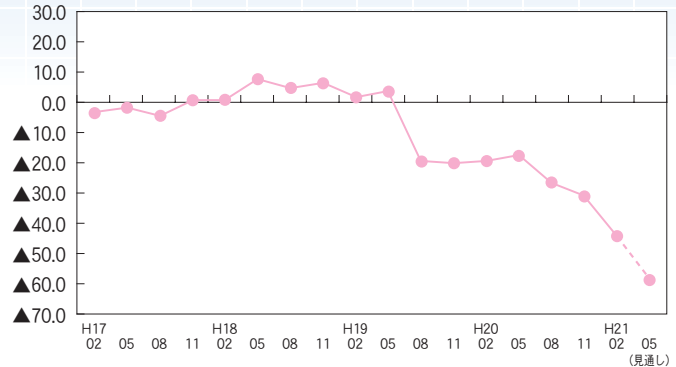
業況は、自社の業況DI値（前年同期比、以下、「業況DI値」という）が▲44.6となっており、前回より13.6ポイント低下するなど、一段と悪化している。

主力産業である製造業の急速な業況悪化に加え、内需関連業種でも需要の急速な冷え込みによる大幅な業況悪化に見舞われている。雇用不安や資金繰りの悪化による倒産懸念はさらに深刻化している。

来期の見通し：先行き不安感が拡大。

業況の先行き見通しは、業況DI値が14.1ポイント低下して▲58.7となるなど、引き続き先行き不安感が拡大している。

自営業況DI値の推移（前年同期比）



年	月	自営業況	業界業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H20	11	▲31.0	▲65.8	▲23.7	▲33.6	▲9.2	▲30.5
H21	02	▲44.6	▲77.4	▲41.5	▲39.4	▲27.1	▲31.8
H21	05 (見通し)	▲58.7	▲77.9	▲50.5	▲52.1	▲23.0	▲49.1

■ 業種別の動向

現状判断

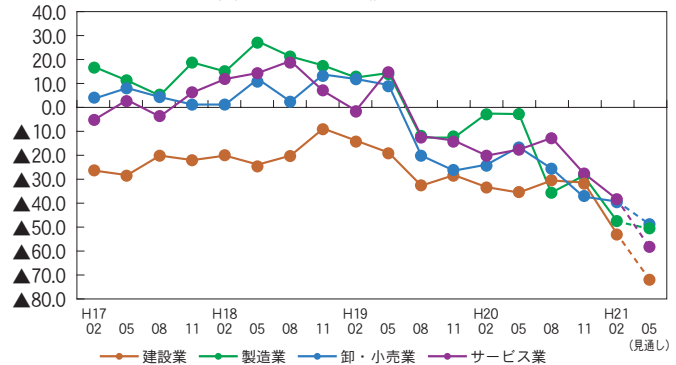
業種別では、建設業の業況DI値（前年同期比）が調査開始以来最大の落ち込みを記録するなど、極めて厳しい状況。業況DI値は前回より21.2ポイント低下し、▲52.7となった。

また、製造業、卸・小売業、サービス業の業況DI値もそれぞれ▲47.2、▲39.2、▲38.7となっており、すべての業種で過去最低の水準となった。

来期見通し

今期大幅な落ち込みを見せた建設業では、業況DI値が▲72.0となるなど、さらなる悪化が見込まれる。また、卸・小売業やサービス業などの内需関連業種を中心にして先行き不安感が拡大しており、いずれも業況DI値は今期と比べて二桁以上の低下となった。

業種別DI値の推移（前年同期比）



年	月	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H20	11	▲31.5	▲28.8	▲37.2	▲27.1
H21	02	▲52.7	▲47.2	▲39.2	▲38.7
H21	05 (見通し)	▲72.0	▲50.7	▲49.1	▲58.6

■ 地域別の動向

現状判断

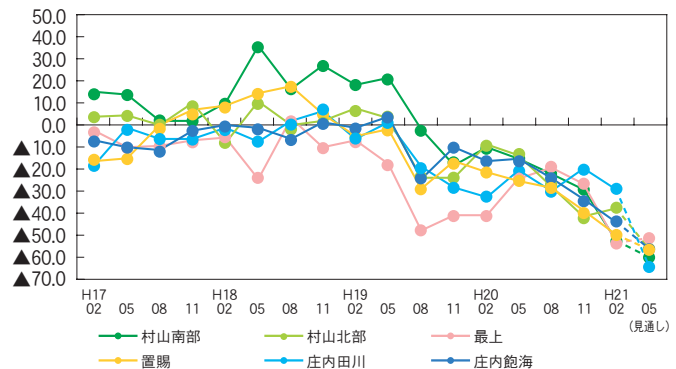
地域別では、業況DI値（前年同期比）がすべての地域で「悪い」超となったほか、村山北部を除く5地域で前回調査時点と比べて業況DI値が低下するなど、各地で景気の悪化が進んでいる。

特に、村山南部、最上、置賜、庄内飽海の4地域では、業況DI値が過去最低の水準となるなど、景気の悪化が深刻化している。

来期見通し

業況の先行き見通しは、最上で業況DI値が下げ止まりの動きを見せるなどしたが、それ以外の地域では総じて先行き不安感が高まっており、各地で一段と景気の悪化が進むものと思われる。

地域別DI値の推移（前年同期比）



年	月	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H20	11	▲29.3	▲41.3	▲26.5	▲38.6	▲19.4	▲33.7
H21	02	▲53.7	▲38.0	▲54.1	▲51.3	▲29.3	▲44.6
H21	05 (見通し)	▲60.2	▲56.3	▲51.4	▲56.8	▲64.7	▲56.7